



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

4月の待機児解消に向けて緊急要望を提出



（荻原副市長に要望書を手渡す市議団・右から清水・岡田・大高議員）

2月13日、日本共産党日野市議団は、大坪市長に対して、今年4月の待機児をなくすための緊急要望を提出しました。

今年4月からの保育園申し込み状況を見ると、希望する認可保育園に入れなかった子どもの数（一時不承諾）は321人でした。

仮に、一次不承諾の子どもと待機児（新基準）の出現率が2018年度と同様だと仮定して試算すると、0歳児29人、1歳児、52人、2歳児13人、3歳児5人の待機児がでる可能性があります。

預ける保育園が見つからなくて仕事を失

う方をださないための緊急対策の申し入れに対して荻原副市長は「待機児が出ないようにすることは基本だ」と述べ、都制度の活用なども検討していることを明らかにしました。

【緊急要望項目】

- ①都の緊急1歳児受け入れ事業などを活用して、今年4月の待機児の受け入れのための緊急対策を講じること。
- ②待機児解消にむけ、さらなる認可保育園の増設に務めること。

多摩平団地跡地に特養ホーム「花子」4月1日開所

今年4月1日、市立病院の斜め向かい側の多摩平団地跡地に定員120人の特別養護老人ホーム「花子」が開所します。特養ホームの開設は多摩平団地建て替えの際の住民の要望でしたが、ようやく実現にこぎつけました。先日議会向けに内覧会が開催

され、見学させていただきました。

花子は、身体拘束を廃止した上川病院（現・多摩平の森の病院）を母体とした社会福祉法人あかつきが運営します。全室個室で、12床のショートステイ、デイサービス、訪問介護も併設されます。

医療的なケアが必要な方も受け入れ

これまで、医療的なケアが必要な方は受け入れ先を見つけることが難しく、家族の方は大変な苦勞をされています。

花子は、医師の配置を手厚くし、夜も看護士が常駐して、医療的な処置（経管栄養、在宅酸素、インスリン注射）が必要な方でも受け入れ可能です。

現在の花子之申し込み者の約2割が医療的なケアを必要とし、在宅や老人保健施設で待機しているとのことでした。



料金が比較的安い多床室も設置

新しい特養ホームは個室型が多く料金が高いという問題がありました。日本共産党市議団は、特養ホームを新設する際に比較的料金が安くなる多床室を設置することを要望していましたが、花子には多床室（3人部屋）が12名分設置されました。

3人部屋としていますが、実際には3つの個室が連結されている構造のため、写真のように個室とほとんど変わりません。

世帯全員が市民税非課税の介護保険料第3段階の方で要介護5の場合、ユニット型個室は月額9万5072円ですが、多床室型だと6万4181円です。

ただ、月額利用料の他にも、医療費、管理料などの費用もかかるため、年金生活者にとっては重い負担と言わざるを得ません。引き続き、負担軽減策に取り組んでいきます。

